

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 バレット食道腺癌症例における His 角測定を含んだ臨床・病理学的比較を行う後ろ向き観察研究
	●研究の対象 2012 年 1 月～2025 年 4 月に当院病理検査でバレット食道腺癌の診断となった方 50 名
	●研究の目的 バレット食道の主な原因は逆流性食道炎などによる炎症で、胃酸や胆汁酸に対する反応で食道の扁平上皮が、刺激に強く酸環境に適した円柱上皮に置換された状態と考えられています。バレット食道が注目されているのは、食道癌（特に腺癌）の危険因子で、食道癌の前がん病変と考えられているためです。バレット食道は欧米に多く発症する病気でしたが、近年、食生活の欧米化や肥満の増加、Helicobacter pylori 感染率の自然低下・除菌治療の普及などにより日本人においても逆流性食道炎やバレット食道は増加してきており、今後バレット食道癌の増加が懸念されます。 バレット粘膜は全周性に 3cm 以上認められるものを long segment Barrett esophagus (LSBE)、それ以外のものは short segment Barrett esophagus (SSBE) と定義されます。バレット食道の有病率は LSBE よりは明らかに SSBE で頻度が少ないといわれていますが、SSBE と LSBE では発癌のポテンシャルに差があることが知られており、有意に LSBE でリスクが高かったと報告されています。 バレット食道腺癌は SSBE 由来の表在癌だと右前壁に多いと報告され、LSBE 由来だと 62% が 1-5 時の右側壁に見られたと報告されています。 SSBE 由来と LSBE 由来で発癌する場所が異なる理由について、我々は胃酸逆流について着眼しました。胃酸逆流に關与する要素は LES (lower esophageal sphincter) 圧の低下

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	や腹部食道の縦隔内への挙上とそれに伴う His 角の鈍化などが考えられます。 発癌部位が異なる理由として、His 角の鈍化の程度による胃酸逆流の方向が異なるのではないかと仮説を立てました。SSBE 患者より LSBE 患者の方がより胃酸逆流が多い可能性があり、それは SSBE 患者より LSBE 患者の方が His 角がより鈍化していると想定しました。 2 つのグループを比較して、違いを確認することでバレット食道癌の発生機序や傾向を探ることが目的です。 ●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2030 年 07 月まで ●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日 ●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、血液検査、画像検査、カルテ番号 等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 内科学第一講座 教授 杉本 健
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 内科学第一講座 担当者： 乾 航 TEL： 053-435-2261 E-mail：